

「平成30年度 全国学力・学習状況調査」 本校6年生の調査結果概要のお知らせ

平成30年4月17日に、全国の6年生を対象として『平成30年度 全国学力・学習状況調査』が実施されました。本調査は、全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童への教育活動の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。

本校6年生の個人の結果につきましては、既に各家庭にお知らせしておりますが、この度、本校6年生全体の分析を終えましたのでお知らせします。このうち、「課題」については、6年生だけの課題としてではなく、本校児童全体の課題として捉え、「改善の方向」についても、全学年を通じて改善を進めていく方向を示しております。

なお、文部科学省よりの通知にもありましたが、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であることを踏まえてご覧いただきたく存じます。

《平成30年度 全国学力・学習状況調査結果の概要》

【調査の内容】

- ① 教科に関する調査
 - ◆主として「知識」に関する問題～国語A・算数A
 - ◆主として「活用」に関する問題～国語B・算数B
 - ◆主として「知識」「活用」に関する問題を一体的に出題～理科
- ② 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査
 - ◆学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

本校の概要（国語）

今回の調査における課題

改善の方向

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題（A）

- 「話すこと・聞くこと」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「書くこと」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「読むこと」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「言語事項」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

主として「活用」に関する問題（B）

- 「話すこと・聞くこと」
 - ・全国平均に比べ、下回っている。
- 「書くこと」
 - ・全国平均に比べ、下回っている。
- 「読むこと」
 - ・全国平均に比べ、下回っている。

◆日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使うこと。

◆話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。

◆目的や意図に応じて、他のものと比較して書くことで、よさが伝わることを捉えること。

◆目的に応じて複数の本や文章などを選んで読むこと。

○日本で昔から使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使う指導の充実。

○話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる指導の充実。

○事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて、簡単に書いたり、詳しく書いたりする指導の充実。

○目的に応じて、本や文章を比べて読むなどの効果的な読み方を工夫する指導の充実。

本校の概要（算数）

【区分及び領域】

1主として「知識」に関する問題(A)

- 「数と計算」
 - ・全国平均に比べ、下回っている。
- 「量と測定」
 - ・全国平均と比べ、下回っている。
- 「図形」
 - ・全国平均に比べ、ほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「数量関係」
 - ・全国平均に比べ、下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

- 「数と計算」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。
- 「量と測定」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。
- 「図形」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。
- 「数量関係」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。

今回の調査における課題

- ◆除法で表すことができる二つの数量を理解すること。
- ◆1に当たる大きさを求める問題では、除数が小数である場合でも除法を用いることを理解すること。
- ◆単位量あたりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解すること。
- ◆ 180° や 360° を基に、分度器を用いて、 180° よりも大きい角の大きさを求めること。

改善の方向

- 除法の問題場面を的確に捉え、数量の関係を図や数直線などを用いて、立式できるようにする指導の充実。
- 単位量あたりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解できるようにする指導の充実。
- 「角の大きさを1直角を基に検討を付ける」「角の大きさを測定する」「角の測定の結果を振り返って確かめる」という一連の活動を関連づけ、角の大きさを正しく測定できるようにする指導の充実。

本校の概要（理科）

【区分及び領域】

- 「A区分 物質」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「A区分 エネルギー」
 - ・全国平均に比べ、下回っている。
- 「B区分 生命」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、上回っている。
- 「B区分 地球」
 - ・全国平均に比べ、下回っている。

今回の調査における課題

- ◆土地の浸食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できること。
- ◆より妥当な考えをつくりだすために、複数の情報を関係付けながら、分析して考察できること。
- ◆電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できること。

改善の方向

- 予想が確かめられた場合に得られる実験結果から見通しをもって実験を構想できるようにする学習の充実。
- 観察、実験で得られた結果を基に事実と考えを示しながら、自然の事物・現象を科学的な言葉を用いながら説明する学習の充実。
- 実験結果から、個人で分析したり、議論したりするなど話し合いを通して妥当性を見直す学習の充実。

【質問紙調査結果】
学校や家庭での「学習」や「生活」の様子について

子どもの学校・学習に対する関心・意欲・態度

- 「家で、自分で計画を立てて勉強をしています。」
「家で、学校の宿題をしています。」と回答している児童の割合は、全国平均を下回っています。
- 「家で、学校の授業の予習・復習をしています。」と回答している児童の割合は、全国平均を上回っています。
- 「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）の質問に1時間以上と回答している児童の割合は、全国平均を大きく上回っています。
- 「算数・理科の勉強は大切だと思います。」と回答している児童の割合は、全国平均を下回っています。

家庭生活・地域での生活・その他

- 「毎日、同じくらいの時刻に起きています」と回答している児童の割合は、全国平均を上回っています。
- 「今住んでいる地域の行事に参加しています。」と回答している児童の割合は、全国平均を下回っています。
- 「地域や社会で起こっている問題や出来事に興味があります。」「今、社会のことがらや自然のことがらに「不思議だな」「おもしろいな」などと思います。」と答えた児童は児童の割合は、全国平均を下回っています。

☆本校では、「朝の読書タイム」、「めっきらもっきらお話し隊」による読み聞かせなどを行っており、どの学年においても、じっくりと本の世界に浸る姿が見られます。
「うち読・うち学」の推奨につきましては、引き続き「親子読書」など、ご家庭でも「読書の充実」に向けて、一層のご協力をお願いします。また、お子様方の学力向上へ向けて、ご家庭と学校との連携を図っていきたいと考えておりますので、「宿題への確かな取組と提出」や「家庭学習への自主的な取組」へのご協力もよろしくお願いいたします。

☆懇談等でご説明いたしました『さっぽろっ子「学び」のススメ～学校も、家庭も、「まほうのかいわ」で習慣づくり』として、学校と家庭の両方で子どもたちに寄り添いながら、地域や社会にも目を向けるようなメッセージを伝えてあげることやお子さんの伸びを認め、ほめてあげることなどを今後も進めていきたいと思っております。
どうぞよろしくお願いいたします。